

## 基 础 分 野

### 科学的思考の基礎

1. 学習と文章	-----	23
2. 論理的思考	-----	25
3. 生物学	-----	26
4. 情報科学	-----	27

### 人間と生活・社会の理解

1. 心理学	-----	28
2. 倫理学	-----	29
3. 生命倫理	-----	30
4. 人間総合科学	-----	31
5. 人間関係論	-----	32
6. 環境論	-----	33
7. ボランティア論	-----	34
8. 英語 I	-----	35
9. 英語 II	-----	37
10. 英語 III	-----	38
11. 英語 IV	-----	40
12. 国際交流	-----	41

基礎分野	学習と文章	講師・教員 (実務経験)	古川 晴彦 (有)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	1 年前期
科目的概要	<p>20世紀は光の世紀です。レントゲンの発明に始まり、印象派の画家たちがーたとえばモネが生涯をかけて睡蓮や教会を描き続けたのは一光によって対象が千変万化することの素朴な発見であり、20世紀諸学の端緒を開くものでした。近代になって都市の素材は光を透過させるガラスへと移行し、現代は光の通信網が都市を覆って、わたしたちの周りは〈光〉で溢れています。光を集めて露光するダゲールによる写真術の発明に始まる映像の歴史はまさに光を眺める体験であるともいえるでしょう。この講義の関心事は「映像のリテラシー」を獲得することであると同時にすぐにそれを解体してあたらしい「文法」を獲得することにあります。この講義ではさまざまな作品を通じて映画が映画に自覚的になっていく過程を追います。よってここでの映画は必ずしも物語性を最上とするものではありません。You Tube に先駆けるゴダールの断続する「物語」、音と食い違う「映像」、さまざまなちぎれちぎれの「歴史」と「記憶」の断片を、わたしたちは〈光〉を通じて辿っていくことになるでしょう。そしてそのときわたしたち自身も他者を通じて断片的に照らしなおされ、参照されつづけるでしょう。この講座には映画や文学のみならず都市、音楽、美術、経済学、あらゆる分野を越境する関心を有する学生に集まつていただきたいと思っています。映像を扱いながらもやっていることは毎回自らの考えを相対化し、「言葉」によって整理して、明確化する力です。各回に簡単なミニレポートを提出していただきます。扱う教材は全て生と死、若さと老い、介護、保育、病（主にハンセン病）と差別の歴史、葬送儀礼など、看護医療と関係のあるものが選ばれています。</p>		
目標	問題を発見し、自らの仮説を立てて、その仮説を検証する思考方法を身につける。他者を知り相対化した上で、自らの考えを「言葉」（文章）によって整理して明確にする力を養う。		
回数	授業内容	授業形態	
1回	宮崎駿『千と千尋の神隠し』第1回	講義	
2回	宮崎駿『千と千尋の神隠し』第2回	講義	
3回	宮崎駿『千と千尋の神隠し』第3回	講義	
4回	宮崎駿『千と千尋の神隠し』第4回	講義	
5回	宮崎駿『千と千尋の神隠し』第5回	講義	
6回	デミアン・チャゼル『ラ・ラ・ランド』第1回	講義	
7回	デミアン・チャゼル『ラ・ラ・ランド』第2回	講義	
8回	大林宣彦『野のなななのか』第1回	講義	
9回	大林宣彦『野のなななのか』第2回	講義	

10回	大林宣彦『野のなななのか』第3回	講義
11回	宮崎駿『ハウルの動く城』第1回	講義
12回	宮崎駿『ハウルの動く城』第2回	講義
13回	宮崎駿『崖の上のポニョ』第1回	講義
14回	宮崎駿『崖の上のポニョ』第2回	講義
15回	まとめ・終講試験	講義・試験
テキスト	古川晴彦『ジブリの授業』(アルファベータブックス 2017) *購入の必要はありません	
評価	試験と各回のミニ・レポートによる	

基礎分野	論 理 的 思 考	講師・教員 (実務経験)	佐古 仁志 (無)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	1 年後期
科目の概要	この授業ではプレゼンテーション、ディベートを通して、論理的な思考方法を学ぶ。プレゼンテーションとは、人前で論理的に発言する場である。ディベートとは、ひとつの論題に対して、自分の意見とは関係なく肯定と否定の 2 チームに分かれ、自分たちの論点の優位性を聞き手に理解してもらうことを意図して議論するコミュニケーション形態である。		
目 標	プレゼンテーション、ディベートを通して論理的な議論の方法を学び、「よく伝える」「よく聞く」とはどういうことなのかを追究する。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	講義の概要 プrezentationの導入		講 義
2回	ミニプレゼンテーション 1 自己紹介		講 義
3回	ミニプレゼンテーション 2 自己紹介		演 習
4回	グループプレゼンテーションの準備		演 習
5回	グループプレゼンテーション 1		演 習
6回	グループプレゼンテーション 2		講義・演習
7回	ディベートのために 1・サイレントダイアローグ 1		講義・演習
8回	ディベートのために 2・ディベート準備		演 習
9回	ディベート 1 立論シート作成 ディベート実施、振り返り		演 習
10回	ディベート 1 立論シート作成 ディベート実施、振り返り		演 習
11回	ディベート 1 立論シート作成 ディベート実施、振り返り		演 習
12回	ディベート 2 立論シート作成 ディベート実施、振り返り		演 習
13回	ディベート 2 立論シート作成 ディベート実施、振り返り		演 習
14回	ディベート 2 立論シート作成 ディベート実施、振り返り		演 習
15回	まとめ・論述試験		講義・試験
テキスト	資料配布		
参考文献	授業中に紹介する		
評 價	毎回の課題とディベートの取り組み 60% 論述試験 40%		

基礎分野	生 物 学	講師・教員 (実務経験)	江口 芳夫 (無)
単位・時間	1 単位 15 時間	履修時期	1 年前期
科目の概要	生物、生命現象を愉しく理解するための尺度レベルを学ぶ。 細胞、個体レベルでの生物の特性を学ぶ。		
目 標	生物の特徴『特異的な構造の積極的維持』を理解する。看護をするための基礎とする。		
回数	授業内容		授業形態
1回	生命現象の面白さ、生物とは? 生物学とは? How to live?		講 義
2回	生物の見方、尺度 (レベル) ?／多岐にわたる生物学用語の整理まとめ		講 義
3回	個体維持① 消化・吸収・呼吸・光合成／エネルギー変換(ATP)		講 義
4回	個体維持② 血液 (ヘモグロビン) 、免疫、ホルモン、神経、感覚		講 義
5回	種族維持① 情報伝達として、生殖・発生		講 義
6回	種族維持② 遺伝、メンデルの法則 (DNA) 、染色体、血液型、輸血		講 義
7回	生命の連続性、生命の起源、進化、ダーウィン・ガラパゴスの魅力		講 義
8回	終講試験		試 験
テキスト	高畠雅一 著 系統看護学講座 基礎分野 生物学／第10版 . 医学書院, 2019		
参考文献	ヒトのからだ事典 (岩波ジュニア新書) ／動画、生物標本などの観察		
評 価	試験 100%		

基礎分野	情 報 科 学	講師・教員 (実務経験)	吉井 昭夫 (有)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	1 年前期
科目の概要	高度情報社会により医療現場では、急速に I T化が進んでいます。医療現場においては、コンピュータを利用したデータ処理能力が求められる。それに対応できるようコンピュータの基本的な使い方の学習から統計的処理の基礎を学び、看護に関するデータ、情報、知識を活用し看護ケアの提供を行っていく。		
目 標	基本的な情報処理技術を身につけ、統計学の基礎を理解する。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	オリエンテーション パソコンの使い方 情報検索 文書作成の基礎		講義・演習
2回	文書作成課題		講義・演習
3回	プレゼンテーションソフトの基礎		講義・演習
4回	発表資料作成課題		講義・演習
5回	Excel 入力フォーム		講義・演習
6回	Excel グラフ作成		講義・演習
7回	クロス集計によるデータ分析		講義・演習
8回	度数分布表によるデータ分析 ヒストグラム		講義・演習
9回	度数分布表によるデータ分析 ヒストグラム		講義・演習
10回	平均の差 (1)		演 習
11回	平均の差 (2)		講義・演習
12回	散布図・相関係数によるデータ分析 (1)		講義
13回	散布図・相関係数によるデータ分析 (2)		講義・演習
14回	データ分析復習		講義・演習
15回	まとめ・終講試験		講義・試験
テキスト	講師オリジナル		
参考文献	石村貞夫 他著. よくわかる医療・看護のための統計入門／第2版. 東京図書 2009 授業中にも適宜紹介します		
評 價	課題、授業内に行う小テストなど 40% 試験（筆記・実技） 40% 出席、授業態度など 20% なお、提出する課題において剽窃が認められる場合には、その課題にかかわるすべての学生の基礎点を 0 点とします。		

基礎分野	心 理 学	講師・教員 (実務経験)	原 真太郎 (無)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	1 年前期
科目の概要	心理学は人間理解を目指すために、心を実証的に検証する学問である。本授業では、知覚、記憶、学習、感情、動機づけ、認知、パーソナリティ、発達、社会、臨床にまつわる諸理論に関する基本的な事項について学ぶ。		
目標	心理学に関する理論を理解し看護師として必要な心理学の知識を説明できるようになる。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	心理学とは		講 義
2回	感覚・知覚		講 義
3回	記憶		講 義
4回	学習		講 義
5回	感情		講 義
6回	欲求・動機づけ		講 義
7回	知識・思考		講 義
8回	パーソナリティ		講 義
9回	発達段階と理論 1 乳児期～幼児期		講 義
10回	発達段階と理論 2 児童期～老年期		講 義
11回	臨床心理学の理論		講 義
12回	臨床心理学の実践		講 義
13回	面接と査定法		講 義
14回	看護と心理学		講 義
15回	まとめ・終講試験		講義・試験
テキスト	山村豊 高橋一公 他編. 系統的看護学講座 基礎分野 心理学／第1版. 医学書院, 2017		
参考文献	授業毎に資料を配布し、参考書を適宜紹介する。		
評 価	毎回の小レポート 40% 試験 60%		

基礎分野	<b>倫 理 学</b>	講師・教員 (実務経験)	大江 朱実 (有)
単位・時間	1 単位 15 時間	履修時期	1 年前期
科目の概要	健康な社会には、人間としての道徳や規範、倫理観がなぜ必要かを学び、倫理とは実践が伴うものであることを理解する。		
目 標	善悪の基準を単純に確定することではなく、人間の生命や医療とは何かについて倫理学的に理解を深め、倫理的思考を身につけることができる。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	倫理の基本的な考え方		講 義
2回	生命倫理 1) 生命理論とは何か 2) 生命倫理の理論 3) 生命倫理と看護職の責務		講 義
3回	1. 性と生命倫理		講 義
4回	2. 生殖の生命倫理		講 義
5回	3. 死についての生命倫理		講 義
6回	4. 先端医療と制度をめぐる生命倫理 1) 移植医療 2) 再生医療		講 義
7回	3) 遺伝子医療 4) 医療資源と医療保険制度		講 義
8回	終講試験		試 験
テキスト	宮坂道夫著. 系統看護学講座 基礎分野 看護倫理／第2版. 医学書院, 2018		
参考文献	手島恵 他編. 看護者の基本的責務. 日本看護協会出版会, 2006		
評 價	課題レポート 100%		

基礎分野	生 命 倫 理	講師・教員 (実務経験)	白井 敏子 (無)
単位・時間	1 単位 15 時間	履修時期	3 年前期・後期
科目の概要	近年話題となっている臓器移植、遺伝子治療、安楽死の是非など、生命科学の発展に伴い倫理的諸問題への関心が高まっている。この科目では、「いのち」について自ら考えることに加えて、多様な価値観、多角的な視点（立場）での物事の見方や捉え方があることを学ぶ。また、得た知識や自らの経験をもとに、医療における患者の権利とは何かを考え、患者をケアする側の看護者の倫理観を養い、自己および他者を尊重することの意味について学ぶ。		
目 標	基本となる人間尊重、生命に対する畏敬の念について理解し、医療における倫理に関する基本的知識と倫理的意意思決定について学び、看護者としての態度を養う。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	オリエンテーション 「いのち」について考える（いのちの終わりといのちの始まり） 生命倫理 1		講 義
2回	生命倫理 2		講 義
3回	生命倫理に関わる時事問題 ① (発表課題に関する説明：授業時期をみて別回にする可能性あり)		講 義
4回	生命倫理に関わる時事問題 ②		講 義
5回	グループ発表準備 ①		講 義
6回	グループ発表準備 ② グループ発表 ①		講 義
7回	グループ発表 ② 講義のまとめ		講 義
8回	終講試験		試 験
テキスト	宮坂道夫著. 系統看護学講座 別巻 看護倫理／第2版 (2018) 医学書院		
参考文献	新聞記事、著書など、適宜提示および配布します。		
評 価	出席 20% 課題および発表 30% 試験 50%		

基礎分野	<b>人間総合科学</b>	講師・教員 (実務経験)	宮嶋 哲 松原 一宜他 (有)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	1 年前期・後期
科目の概要	人間は教育により人間として生きていく能力を獲得する。教育を通して過去の文化遺産を学び、未来に生かすこともできる。人間にとって教育がいかに重要であるかを理解し、人を育て、大切にする意味と価値について考えられるよう教育学を含めた内容とする。また、ひとの存在の意味、生き方を考え、「人間」を探求する姿勢を養うとともに、今後の看護師としての自己についても考える。		
目標	教育の基本、人間形成における教育の機能を理解し、多角的、包括的に人間を理解することができる。		
回数	授業内容	授業形態	担当
1回	これからの看護教育とは	講義	鈴木
2回	最先端医療（泌尿器）について（1）	講義	宮嶋
3回	外国人を看護する際に知っておきたいこと	講義	小林
4回	キャンサーフィットネスについて	講義	廣瀬
5回	グリーフケアについて	講義	岡田
6回	医療と共に取り組む女性のための鍼灸ケア	講義	藤原
7回	最先端医療（産婦人科）について（2）	講義	杉山
8回	振り返り（1）	講義	松原
9回	（仮）病院組織と経営について（1）	講義	未定
10回	（仮）病院組織と経営について（2）	講義	未定
11回	（仮）国際医療について（1）	講義	未定
12回	（仮）綜合警備事業と人間教育	講義	未定
13回	（仮）通信事業と人間教育	講義	未定
14回	（仮）国際医療について（2）	講義	未定
15回	振り返り（2）	試験	松原
テキスト	毎回プリント配布		
参考文献			
評価	出席とレポートによる		

基礎分野	人間関係論	講師・教員 (実務経験)	森永 多恵子 (無)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	1 年後期
科目の概要	看護実践は、ケアをする側（看護者）とケアされる側（病者）の相互交流に基づいて行われる。看護等のヒューマンケアをめぐる人間関係論は、心理科学の諸領域のなかでも比較的新しい分野である。本授業では精神力動的な理解に基づいて、看護者と病者の間にどのような人間関係が形成されるかを、体験的に理解することを目的とする。		
目標	看護実践における支援をめぐる人間関係論の概論について体験的に理解する。		
回数	授業内容		授業形態
1回	オリエンテーション 人間関係論の視点		講義・演習
2回	自己意識 自己理解		講義・演習
3回	自己呈示と対人関係		講義・演習
4回	集団のダイナミクス ①集団の中で起こること		講義・演習
5回	集団のダイナミクス ②集団全体の力		講義・演習
6回	集団のダイナミクス ③リーダーシップとマインド・コントロール		講義・演習
7回	人間関係と援助的コミュニケーション		講義・演習
8回	人間関係のスキルトレーニング		講義・演習
9回	対人ストレスとソーシャルサポート		講義・演習
10回	患者と援助者の人間関係		講義・演習
11回	保健医療チームの人間関係		講義・演習
12回	在宅ケアと援助者の関係		講義・演習
13回	生活習慣病者との支援関係		講義・演習
14回	ターミナルケアと人間関係		講義・演習
15回	まとめ・終講試験		講義・試験
テキスト	長谷川浩著. 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論／第3版. 医学書院, 2018		
参考文献	岡堂哲雄著. 人間関係論入門ナースのための心理学 4. 金子書房, 2000		
評価	毎回の課題提出 30%、レポート2回 30% 試験 40%		

基礎分野	環 境 論	講師・教員 (実務経験)	福田 恵 (無)
単位・時間	1 単位 15 時間	履修時期	1 年後期
科目の概要	あらゆる生物は環境の中で生き、生命と環境は常に関係性を保っている。大量生産大量消費といった人類の活動は資源を枯渇させ、生態系を破壊し、地球規模の環境問題に発展し、人間の健康にも影響を与えている。環境と人間の相互作用について学ぶ。		
目 標	環境の概念を理解し、人間を取り巻く自然環境、社会環境および健康と環境との関係を理解する。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	「環境」という言葉		講 義
2回	環境への適応		講 義
3回	地球生態系と人間の特性		講 義
4回	エネルギーの利用と資源		講 義
5回	水資源		講 義
6回	人為的な環境		講 義
7回	持続可能な社会		講 義
8回	終講試験		試 験
テキスト	福田恵著. 新編・看護学生のための環境論入門（予定）. 三恵社, 2020		
参考文献	レイチェル・カーソン著. 沈黙の春／改版. 新潮社, 2004		
評 価	試験 60% レポート 40%		

基礎分野	ボランティア論	講師・教員 (実務経験)	手塚 明美 (有)
単位・時間	1 単位 15 時間	履修時期	2 年前期
科目の概要	ボランティア活動を通して、ひとが地域社会でよりよく生活するための援助としてのボランティアの意義について考え、今後の看護活動への一助とする。		
目標	1. ボランティア活動の目的・意義と課題が理解できる。 2. ボランティア関連の諸制度が理解できる。 3. 他者のボランティア観を理解し、協働して活動することができる。		
回数	授業内容		授業形態
1回	ボランティアの理念、社会における意義 ボランティアの歴史、ボランティアを支える制度と組織		講義
2回	様々なボランティア活動 地域におけるボランティア活動		講義
3回	障害者、高齢者におけるボランティア活動		講義
4回	医療におけるボランティア活動 ボランティアコーディネート（病院を中心に）		講義
5回	海外におけるボランティア活動		講義
6回	実践に向けた学習準備 1. 活動の場を探す 2. 活動の場の目的・対象・内容・役割を把握、活動計画の作成		演習
7回	活動計画に沿ってボランティア活動の実践		演習
8回	活動計画に沿ってボランティア活動の実践		演習
テキスト			
参考文献			
評価	活動計画とレポート（実施報告書）で 100% 実施報告書内容 1. 活動を通して知り得た体験内容 2. 体験から、ボランティア精神について学んだことを表現する		

基礎分野	英 語 I	講師・教員 (実務経験)	ECC 担当講師 (無)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	1 年前期
科目の概要	聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への 5 つのステップをふみ、様々な話題・場面について話す際の定型表現を数多く身につけ、必要な文法事項を自然に会話の中で身につける。そのためには授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話定型表現を暗唱し、ペアワーク・グループワークに取り組み、多くの発話量をこなすことが求められます。		
目 標	日常英会話、看護に必要な英会話の基本を身につけ、対象への対応力を養う。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1 回	オリエンテーション Introducing Yourself : 自己紹介をする		演 習
2 回	Do you like celery? : 食べ物の好き嫌いについて話す 英語を読んでみよう : 落語		演 習
3 回	What did you do in Europe? : 過去の旅行について話す 英語を読んでみよう : デパ地下		演 習
4 回	Past Trip : 過去に行った旅行について話す		演 習
5 回	Around the city : 町でできることについて話す 英語で読んでみよう : 居酒屋		演 習
6 回	What's a nice place to see the fall leaves? : あることをするのに お勧めの場所を伝える		演 習
7 回	Tour Day : 一日について話す 英語で読んでみよう : 聖地巡礼		演 習
8 回	Making Small Talk on an Airplane : 機内でちょっとした会話をする 英語を読んでみよう : 折り紙		演 習
9 回	Ask about Hotel Facilities : ホテルの施設について尋ねる 英語を読んでみよう : お一人様		演 習
10 回	Checking in at a hotel : ホテルにチェックインする 英語を読んでみよう : コスプレ		演 習
11 回	Relatives : 親戚について話す 英語を読んでみよう : キャラ弁		演 習
12 回	Catching Up : 友達と近況について話す 英語を読んでみよう : 銭湯		演 習
13 回	Where's She going to go? : 未来の予定について話す		演 習

14回	Making an Appointment : 予約をする 英語を読んでみよう : プリントシール機	演習
15回	Review	演習
テキスト	授業時に配布 Challenger α1 (ECC オリジナルテキスト) 大人が楽しい英語	
参考文献	必要時適宜	
評価	毎回の発言などのクラス貢献度、会話参加状況、小テスト、ミニスピーチにより評価	

基礎分野	英 語 II	講師・教員 (実務経験)	ブーン大山 ハリーフエルナン デス キャロル (有)
単位・時間	1 単位 15 時間	履修時期	1 年後期
科目の概要	社会の国際化が進み、医療、看護業務の中でも英語を使用する機会が増加している。今後の看護活動に役立てられるよう日常英会話、医療場面における基本的な英会話を学ぶ。小グループによる会話中心の授業を行う。		
目 標	日常英会話、看護に必要な英会話の基本を身につけ、対象への対応力を養う。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	英会話 Basic Conversation I		演 習
2回	英会話 Basic Conversation II		演 習
3回	英会話 Situational Conversation (Nursing)		演 習
4回	英会話 Situational Conversation (Nursing)		演 習
5回	英会話 Situational Conversation (Nursing)		演 習
6回	英会話 Situational Conversation (Nursing)		演 習
7回	英会話 Situational Conversation (Nursing)		演 習
8回	終講試験 Situational Conversation w/(Pair)		試 験
テキスト	授業時に配布 オリジナルテキスト (HBR) ハワイ BOON 留学スクール		
参考文献	必要時適宜		
評 働	毎回の会話参加状況 タレントショー テキスト課題の提出により評価		

基礎分野	英 語 III	講師・教員 (実務経験)	ECC 担当講師 (無)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	2 年前期
科目的概要	聞く・まねる・繰り返す・作る・使う、の基本から実践への 5 つのステップをふみ、様々な話題・場面について話す際の定型表現を数多く身につけ、必要な文法事項を自然に会話の中で身につける。そのためには授業中は積極的に口頭練習に参加し、重要会話定型表現を暗唱し、ペアワーク・グループワークに取り組み、多くの発話量をこなすことが求められます。		
目 標	日常英会話、看護に必要な英会話の基本を身につけ、対象への対応力を養う。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1 回	オリエンテーション Describing People : 人の性格や外見について話す		演 習
2 回	Explaining Food : 食べ物を説明する 英語を読んでみよう : 隈取り		演 習
3 回	Restaurants : お気に入りのレストランについて話す 英語を読んでみよう : 花見		演 習
4 回	Eating Out : 外食について話す		演 習
5 回	Where did you go shopping? : 過去の行動について話す 英語を読んでみよう : にじり口		演 習
6 回	Places : 場所を勧めて何ができるか話す		演 習
7 回	Dream Vacations : 行きたい場所について話す 英語を読んでみよう : 線香花火		演 習
8 回	Do you like festivals? : 日常的にすることについて話す 英語を読んでみよう : 座禅		演 習
9 回	Free Time : 余暇の行動について話す		演 習
10 回	Shopping at a Drugstore? : 薬局で買い物をする 英語を読んでみよう : 浮世絵		講 義
11 回	Paying for Things : 買い物の支払いをする 英語を読んでみよう : 枯山水		演 習
12 回	Helping with Transportation : 外国人旅行者の手助けをする 英語を読んでみよう : もみじ狩り		演 習
13 回	Offering Help : 手伝いを申し出たり受けたりする 英語を読んでみよう : おせち		演 習

14回	Asking Permission : 許可を求める 英語を読んでみよう : 旅館	演習
15回	Review	演習
テキスト	授業時に配布 Challenger α2 (ECC オリジナルテキスト) 大人が楽しい英語	
参考文献	必要時適宜	
評価	毎回の発言などのクラスの貢献度、会話参加状況、小テスト、ミニスピーチにより評価	

基礎分野	英 語 IV	講師・教員 (実務経験)	ブーン大山 ハリーフエルナン デス キヤロル (有)
単位・時間	1 単位 15 時間	履修時期	2 年後期
科目の概要	実際の研修場面を設定し、友達同士やネイティブスピーカーとコミュニケーションを交わす。小グループで行い、発話する場面を多く持つことでより能力を身につける。		
目 標	海外研修に対応できるように、日常生活や医療現場におけるコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。		
回 数	授 業 内 容		授業形態
1回	BASIC PHRASES FOR SEMINARS AND TRAVEL		講 義
2回	入国時における必要な語彙と表現		講 義
3回	宿泊施設内における必要な語彙と表現		講 義
4回	自主研修行動における必要な語彙と表現 (1)		講 義
5回	自主研修行動における必要な語彙と表現 (2)		講 義
6回	医療研修現場における必要な語彙と表現		講 義
7回	トラブルに会ったときに必要な語彙と表現		講 義
8回	プレゼンテーションによるテスト		講義・試験
テキスト	資料配布		
参考文献			
評 價	テストと授業態度		

基礎分野	国際交流	講師・教員 (実務経験)	田中 理恵 (有)
単位・時間	1 単位 30 時間	履修時期	2 年通年
科目の概要	国際化が問われる日本において、異文化圏の人々や地域との交流を積極的に取り入れ、多様な価値観に触れることにより、国際感覚を含めた学習の広がりが期待できる。そのため、本科目は他国の文化を知る人や異文化圏の人々と交流する場を設け、自分や自國への理解を深め、多様な価値観に触れる機会とする。このことは、知的好奇心や柔軟性をもち自己の排他性や閉鎖性に気づき、多様な価値観を認識できる能力を養うことにつながる。		
目標	1. 現地の医療スタッフや人々と異文化交流が図れる。 2. 異文化コミュニケーションを通じて自己理解や他者理解ができる。 3. 多様な価値観に触れ、国際人としての自覚ができる。 4. 訪問先の保健・医療・福祉制度や看護教育を知り、日本との相違が理解できる。		
回数	授業内容		授業形態
1回	授業計画および科目のオリエンテーション 国際交流の意義 海外研修でのプレゼンテーションについて概要説明		講義
2回	海外研修にむけた事前学習		講義
3回	海外研修にむけた事前学習 研修先での交流会の準備		講義
4回	研修先での交流会の準備		講義
5回	第1回海外研修オリエンテーション 1. 海外研修の日程・内容・注意事項、必要物品の確認 2. 旅行会社からの手続きの説明 3. 緊急時の連絡体制		講義
6回	研修先での交流会の準備		講義
7回	第2回海外研修オリエンテーション		講義
8回	研修先での交流会の準備		講義
9回	海外研修 現地病院訪問 1. 医療機関での講義 (病院紹介・看護紹介、医療制度含む) 2. 病院見学研修		演習
10回	海外研修 現地大学訪問 1. 現地学生と交流 2. 異文化体験		演習

11回	海外研修 1. 市内観光（文化・歴史的建造物の見学研修など）	演習
12回	海外研修	演習
13回	海外研修	演習
14回	海外研修のまとめ	講義
15回	海外研修のまとめ	講義
テキスト	なし	
参考文献	新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学／第2版. メディカルフレンド社, 2013	
評価	授業出席及び授業態度（決まり事、約束を守り他者に協力的に学習できるか）50% 研修後のレポート 40%、交流会企画及び発表 10% レポート作成「海外研修での学び」副題は各自が考える	

※国際交流のシラバスは、今後予定が変更される場合があります。